



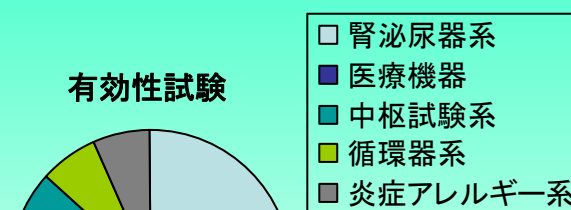
ミニブタ特集号
-その3-

— NBRのミニブタの歴史と最近の試験の傾向 —

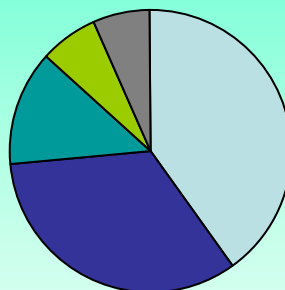
歴史

- 1995年 羽島研究所にて家畜ブタ(ペビー豚)を用いた薬理試験実施
- 1997年 ミニブタを用いた薬理試験開始。[(株)中外医学研究所よりゲッチング系ミニブタを入手]
- 2001年 修善寺にミニブタ専用施設(修善寺試験室)を設置し、薬理及び安全性試験の受託開始
- 2003年 日生研(株)よりNIBS系ミニブタを入手
- 2004年 医薬品GLP適合施設としての認可を取得
- 2008年 医療機器GLP適合施設として認可を取得
収容頭数を増やすため施設を拡張(60頭→75頭)
- 2009年 X線装置の導入
収容頭数の増加(75頭 → 85頭)
- 2010年 施設拡充工事
収容頭数の増加(85頭 → 166頭)

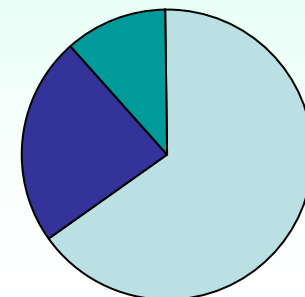
ミニブタ試験の実績(2009年度)



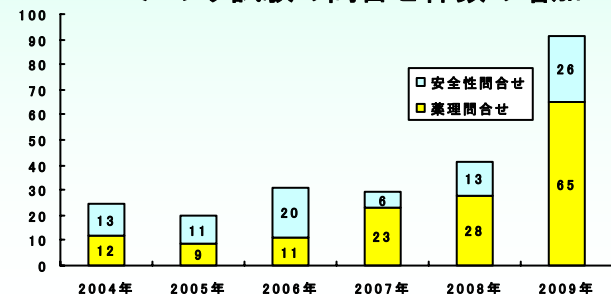
有効性試験



安全性試験



ミニブタ試験の問合せ件数の増加



佐部利 典彦のアートギャラリー(34)

岐阜県出身(1969~)

タイトル:母子の像

SMサイズ
木製パネルに和紙貼り、墨とアクリル絵具

娘もこの春で2歳になり、久しぶりに母子像を描いてみました。子どもは毎日、本当に成長するのが分かります。僕はたいしたことはしてやれませんが、娘の全てを受け入れて大きく育てることができたらと日々、思っています。なぜだか、モノトーンのイメージです。



『心の絆 - その34-』

使命感(Mission)と情熱(Passion)、いずれも積極的な人生を送るのに必須なものと理解しています。その意識を強く持つ意味で、人には必ず自分が守らないといけな存在を創ることが必要かと思えます。即ち、私が守らなければ誰が守るのだと思える存在で、その存在とは家族だと思えます。子供、親、夫、妻、兄弟など、家族の中でもその状況によって関る対象やウエイトの大小は変わりますが、その時々、この家族の為にという気持ちが無意識のうちに発生し、人生途上で生じるいろんな事象に立ち向かっていく姿勢が生まれてきます。そこには自ずと使命感が芽生え、事象に情熱を傾ける姿が育っていきます。そして、事象に困難を伴うほど、それを乗り越え、家族の笑顔を見た時に感じる達成感が真の喜びや幸福に結びついています。積極的に生き、納得性の高い人生を築くためにはまず自分が守る家族を創ることから始まります。